

令和8年度10月入学

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

獣医学専攻（博士課程）

学生募集要項

（外国人留学生特別選抜（渡日前入試））

Application for Admission to the Doctoral Program of Veterinary Science

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Starting in October, 2026

Pre-Arrival Admission for International Students

# 試 験 日 程

書類選考 (特別支援制度 希望者のみ)	申請期限	令和8年5月22日 (金)	
	結果通知	令和8年6月5日 (金)	
出願資格審査申請期限 (該当者のみ)		令和8年6月5日 (金)	
出願期間		令和8年6月8日 (月) ~令和8年6月18日 (木)	
試験実施日	英 語	出願時に外部試験成績を提出する※	
	オンライン 面接	令和8年6月26日 (金)	
合格発表日		令和8年7月3日 (金)	
入学手続期間		令和8年7月3日 (金) ~令和8年7月17日 (金)	

※ 英語外部試験については、令和6年4月1日以降に受験したもので、TOEIC L&R (650点以上) (TOEIC-IPも可)、TOEFL-iBT (67点以上)、IELTS (5.5以上) のいずれか一つ。

## Entrance Examination Schedule

Document screening (Only for scholarship applicants)	Deadline	Friday, May 22, 2026	
	Notification of result	Friday, June 5, 2026	
Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable)		Friday, June 5, 2026	
Application period		From Monday, June 8, 2026 to Thursday, June 18, 2026	
Examination	*English	Submit the original certificate of the exam (TOEIC L&R, TOEFL-iBT, or IELTS) when you apply.	
	Online Interview	Friday, June 26, 2026	
Date of notification of admissions		Friday, July 3, 2026	
Enrollment period		From Friday, July 3, 2026 to Friday, July 17, 2026	

\*The test score must be taken after April 1, 2024.

TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher

TOEFL iBT: 67 or higher

IELTS Academic-Module: 5.5 or higher

## 目 次

1 募 集 人 員 .....	1
2 出願資格・要件.....	1
3 出願資格の認定（書類審査） .....	2
4 障がい等のある志願者との事前相談 .....	2
5 経済的支援制度について .....	3
6 出 願 手 続 .....	4
7 入学者選抜方法 .....	6
8 試験期日及び試験場 .....	6
9 合 格 発 表 .....	6
10 入 学 手 続 .....	6
11 個人情報取り扱いについて .....	6
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内 .....	7
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先 .....	10

## Contents

1	Number of Students to be Admitted .....	11
2	Application Criteria .....	11
3	Authorization for Qualified Applicants .....	12
4	Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities .....	12
5	Financial Support .....	13
6	Application Procedure .....	14
7	Method of Selection .....	16
8	Time, Date and Location of Examination .....	16
9	Notification of Admission .....	16
10	Enrollment Procedures .....	16
11	Privacy Statement .....	17
	©Description of the Master's Program .....	18
	©Application and enquiries .....	22

## 1 募集人員

専攻・課程	募集人員
獣医学専攻・博士課程	若干人

## 2 出願資格・要件

次の①、②及び③に該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、外国に在住している者
  - ② TOEIC L&R (650 点以上) (TOEIC-IP も可)、TOEFL-iBT (67 点以上)、IELTS Academic-module (5.5 以上) のいずれか一つを令和 6 年 4 月 1 日以降に受験し、取得している者
  - ③ 次の i ~ v のいずれかに該当する者
    - i 大学における修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者又は令和 8 年 9 月までに卒業見込の者
    - ii 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了した者又は令和 8 年 9 月までに修了見込みの者
    - iii 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 5 年以上である課程（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8 年 9 月までに授与される見込みの者【注 1】
    - iv 文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号）
      - ア 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
      - イ 防衛省設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者
      - ウ 修士課程又は専門職学位課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本学大学院において、修業年限 6 年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
      - エ 修業年限 4 年の大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修業年限 6 年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者【注 2】
    - v 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者【注 2】
- 【注 1】： 大学（最終の課程が獣医学、医学、歯学又は薬学であるものに限る）卒業まで 18 年に満たない国の大学卒業（見込み）者で、出願資格 iii に該当しない場合は、出願資格 v の個別の入学資格審査が必要となります。
- 【注 2】： 出願資格③ iv のエ、③ v により出願する者については、出願資格の認定が必要ですので、「3 出願資格の認定（書類審査）」を参照してください。

### 3 出願資格の認定（書類審査）（該当者のみ）

上記「2 出願資格・要件」の③ivのエ、③vで出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、下記の提出書類を提出期限までにメールで提出してください。

提出書類	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類） (4) 研究歴証明書（研究期間、研究内容は必ず記載） (5) 研究成果資料
提出期限	令和8年6月5日（金）
提出・問合せ先	〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試課入学試験係 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

※ 出願資格認定申請書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

### 4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、下記の期限までに事前にメールで相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前にメールで相談してください）。

提出書類	(1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等）
提出期限	令和8年6月18日（木）
提出・問合せ先	〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試課入学試験係 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

※ 事前相談書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/admissions>

上記ウェブサイト内の「障がい等のある志願者との事前相談」をご覧ください。

## 5 経済的支援制度について

### (1) 帯広畜産大学外国人留学生特別支援制度

本学の特別支援制度を希望する者は、事前に書類選考を受ける必要があります。この書類選考に合格した後、正式に出願し、入学試験（オンライン面接）に合格した者には、月額 10 万円の奨学金が支給され、入学料及び授業料が免除されます。

ただし、奨学金の給付及び授業料免除は 4 年間を限度とし、1 年後の成績等の総合評価によっては給付及び免除を取り消す場合があります。

希望者は、出願に先立って下記の書類を提出期限までにメールで提出してください。

なお、政府または他の機関の奨学金の採択者は、本特別支援制度の対象者とはなりません。

ただし、留学生受入れ促進プログラム予約制度（外国人留学生学習奨励費）との併給は可能です。）

特別支援制度の募集人員	1 名（令和 8 年 10 月入学者）
提出書類	4 ページに記載の出願書類（ただし 2 を除く。）※
提出期限	令和 8 年 5 月 22 日（金）
書類選考の結果通知	令和 8 年 6 月 5 日（金）
提出・問合せ先	〒 080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地 帯広畜産大学 入試課入学試験係 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

※ 書類選考では検定料を支払う必要はありません。

### (2) 2026 年度留学生受入れ促進プログラム予約制度（文部科学省外国人留学生学習奨励費）

【対象者】本研究科に入学予定の、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により就学が困難である私費外国人留学生。その他条件については日本学生支援機構のホームページをご確認ください。  
[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html)

【給付月額】 48,000 円

【支給期間】 2026 年 10 月から 6 か月間

【応募方法】 応募を希望する私費外国人留学生は、令和 8 年 5 月 7 日（木）までに下記連絡先までメールでご連絡ください。

【連絡窓口】 学生支援課留学生係 メールアドレス：rgk@obihiro.ac.jp

【備考】 (1) 帯広畜産大学外国人留学生特別支援制度と (2) 2026 年度留学生受入れ促進プログラム予約制度の併給は可能です。

## 6 出願手続

### (1) 出願書類等

出願書類等		摘 要
1	入学志願票 受験票 写真票	*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真（縦4cm横3cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのものとする（電子データ可）。
2	検定料支払時の外国送金依頼書のコピー	検定料(30,000円)を金融機関で払い込み、外国送金依頼書のコピーを提出してください。払い込み方法は5ページの(2)を参照してください。
3	研究計画書	大学院において行おうとする研究内容を記載してください。作成要領は5ページの(3)を参照してください。
4	志望理由書	本学大学院を志望した理由並びに日本での留学経験を日本や母国にどのように活かしたいと考えているかについて、A4用紙1枚以内で、英語で作成してください。
5	修業年限6年の学部・学科の卒業（見込）証明書又は修士課程修了（見込）証明書	原本を提出してください。
6	成績証明書	原本で厳封したものを提出してください（出身大学及び出身大学院）。
7	推薦書	出身大学の長等の推薦書（任意様式、英語）で、人物、成績、課外活動、英語力等について記載されたものを提出してください。
8	TOEIC 公式認定証, TOEFL 公式スコア レポート, IELTS 成績証明書	以下のうち、いずれか一つを提出してください。令和6年4月1日以降に受験したものに限り、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC L&amp;R 公式認定証またはデジタル公式認定証を印刷したもの（650点以上）（TOEIC-IPも可）</li> <li>・TOEFL-iBT スコアレポートまたはPDF スコアレポートを印刷したもの（67点以上）</li> <li>・IELTS Academic-module の成績証明書またはPDF 成績証明書を印刷したもの（5.5以上）</li> </ul>

(2) **検定料 (30,000 円) の払い込み方法 (日本国外からの送金方法)**

金融機関で検定料：額面 30,000 円 (日本円) を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。

- ・電信送金
- ・振込方法：通知払
- ・支払銀行手数料：依頼人負担
- ・送金金額：30,000 円
- ・次の銀行口座に送金してください。

Receiving bank:

NORTH PACIFIC BANK,LTD.  
BANK BRUNCH NAME: OBIHIRO-CHUO BRANCH  
SWIFT CODE: NORPJPJP

Receiving bank's address:

1-BANCHI MINAMI 12-CHOME, NISHI 2-JO, OBIHIRO,  
HOKKAIDO 080-0012, JAPAN

Beneficiary's Account No:

431-4708620

Beneficiary's name:

(DAI)HOKKAIDOKOKURITSUDAIGAKUKIKOU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

**送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAYINFULL」と記入してください。**

**検定料払込期間：令和8年6月1日(月)～令和8年6月18日(木)**

**※ 支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。**

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試課入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合は出願を受理できません。

(3) 研究計画書の作成要領

大学院で実施する研究について、主指導を希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。

英語で A4 版用紙 2 枚程度で作成してください。

研究計画書には以下の 3 つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的 (詳細に記すこと)
2. 研究の方法概略 (技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと)
3. 予想される研究結果 (詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと)

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」のページをご覧ください。

(4) 出願方法及び出願期間

必ず、メールで [nyushi@obihiro.ac.jp](mailto:nyushi@obihiro.ac.jp) あてに提出する事。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しません。

**出 願 期 間：令和8年6月8日(月)～令和8年6月18日(木) (最終日 17 時必着)**

(5) 出願書類等の提出先

〒 080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地  
帯広畜産大学 入試課入学試験係 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

## 7 入学者選抜方法

英語 (TOEFL, TOEIC 又は IELTS) 及び面接 (インターネットを利用。研究計画書, 志望理由書, 成績証明書, 推薦書の内容を考慮します) を総合して行います。

科目名	配点	内容等
英語	100 点	以下のうち、いずれかの公式証明書又はデジタル証明書を印刷したもの (令和 6 年 4 月 1 日以降に受験したものに限り) を提出するものとし、得点は本学の定める基準により換算します。 ・ TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 650 点以上 ・ TOEFL iBT 67 点以上 ・ IELTS Academic-module 5.5 以上
オンライン面接	100 点	複数の面接官による個人面接を実施します (実施言語は英語で約 15 分)。

## 8 試験期日及び試験場

実施期日	科目等	時間
令和 8 年 6 月 26 日 (金)	オンライン面接	出願後に調整します

## 9 合格発表

(1) 発表日時 令和 8 年 7 月 3 日 (金) 10 時

本学ホームページに合格者の受験番号を発表します。(ホームページアドレスは 10 ページ参照)

(2) 合格者には、合格通知書及び入学手続きに必要な書類をメールで送付します。

(3) 電話等による可否に関する問い合わせには、応じられません。

## 10 入学手続

(1) 入学手続期間 令和 8 年 7 月 3 日 (金) ~ 令和 8 年 7 月 17 日 (金) (最終日 17 時必着)

(2) 学生教育研究災害傷害保険料等 (正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置) 4,730 円

## 11 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。

(4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係 (修学指導等)、学生支援関係 (奨学金申請・授業料免除申請等) に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお、合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

# 帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内

## 1 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程） 教育ポリシー（方針）

### ○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、「獣医・農畜産学融合」「海外の大学との協力」による教育体制により、食と農のグローバル化を背景にした専門的知識及び創造性と優れた研究開発能力・教育能力を備えた豊かな人間力を持つ研究者・教育者を養成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 獣医学や農畜産学に関する国際的な視野を持って、高いコミュニケーション能力を身につけて国際水準の先端的研究を展開できる教育者・研究者を目指す人
2. 獣医・農畜産学融合分野において自らの研究成果を社会に還元し、動物や人の健康、地球環境や生態系の保全、産業や生命科学の発展に中心的な役割を担い国内外を問わず社会貢献することに意欲のある人
3. 獣医学専攻の特定分野に関する総合的な知識や先端的研究を探究したい人
4. 獣医学やその関連分野に関する学士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人、または他分野に関する修士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人

### ○入学者選抜の基本方針

1. 一般選抜  
学力検査（英語）で、獣医学分野に関する英文の読解力を評価します。学力検査（専門科目）で、専門分野の学力を評価します。面接で、出願書類等の審査の結果を考慮し、コミュニケーション能力及び専門分野の知識と意欲を評価します。
2. 外国人留学生特別選抜  
学力検査（英語）で、TOEIC、TOEFL 又は IELTS の成績に基づいて読解力を評価します。面接で、出願書類等の審査の結果を考慮し、コミュニケーション能力及び専門分野の知識と意欲を評価します。

### ○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、臨床獣医学、基礎獣医学、公衆衛生学等の獣医学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観
  - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の獣医学分野における最新の知識と技術と伴侶動物、産業動物及び野生動物を対象として高度な最先端医療技術や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人
2. 国際通用力・リーダーシップ
  - ・生体内部のマイクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産を含めた広範囲な生命科学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
  - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献できる能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力
  - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学等の獣医学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術
  - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献でき、獣医

学分野、農畜産学分野及びその学際的分野に関する国際的な視野を持って、獣医学のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的な研究能力を身につけている人

## ○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）ディプロマ・ポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の方針に沿って教育課程を編成します。

### I. 教育内容

すべての学生に対して以下の1～5の教育を行うとともに、必要に応じて以下の6の教育を行います。

1. 研究者としての高度な倫理観の養成  
eラーニングやアクティブラーニングを用いて、教育者・研究者としての高度な倫理観を養成します。
2. リーダーシップの養成  
・社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを有する教育者・研究者を育成するために、高度な知識と技術及び全体を統括できる能力を修得します。  
・優れた教育者・研究者になるために、教育・研究スキルを実践的に修得します。
3. 国際通用力の養成  
・海外での活動を見据え、英語によるプレゼンテーション能力や、ディベート能力及び論文作成能力を高めま  
す。  
・海外の大学との協力体制による研究インターンシップやフィールドワーク等により、最先端の研究能力を修得するための国際通用力を養成します。
4. 博士人材としての総合研究力の養成  
共通科目及び選択科目である他専攻科目により、獣医・農畜産融合の視点から、幅広く専門性の高い知識を分野横断的に修得します。さらに地球規模課題の解決を目的として、研究指導を通じて国際水準の先端的な研究能力を修得します。
5. 国際的に活躍・貢献できる研究者の育成を目指し、必修科目である専攻コア科目により、獣医科学及び関連分野の先端的な専門知識と高度な専門技術を修得します。
6. 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康に関する世界最先端の知識と技術を修得します。

### II. 教育方法

1. 国際水準の先端的な研究能力を能動的に修得し、地球規模課題に取り組む高度な課題発見力・課題解決力を磨くためのアクティブラーニングを行います。
2. 英語によるプレゼンテーションや論文作成等により身につけた表現力・コミュニケーション能力を、海外の大学との協力体制による研究インターンシップやフィールドワーク等において実践します。
3. 社会ニーズに対応できる教育者・研究者としてのリーダーシップを磨くための実践的な演習を実施します。

### III. 学修成果の評価の在り方

1. 授業科目における評価方法と基準について、各科目のシラバス及び成績評価基準に明記します。
2. 単位審査、進級審査、修了審査の方針については、別にアセスメント・ポリシー及び学位論文評価基準を定めて公表します。

## ○アセスメント・ポリシー（学修成果の評価方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科では、ディプロマ・ポリシー（DP）に掲げる能力・資質の修得状況、カリキュラム・ポリシーに則した学修状況について、以下の3つの審査方法により評価を行います。

1. 単位審査  
各科目の単位取得に係る学修の成果は、以下について審査します。  
・授業への出席やレポート・課題の提出等、各科目で必要とする学修が行われたか  
・各科目で設定された、学修到達目標が達成されたか
2. 進級審査  
学生の進級に係る学修の成果は、以下について審査します。  
・進級試験において、カリキュラム・ポリシーに従い学修が進んでいると確認されたか

- ・進捗状況審査会または中間審査会において、研究の進捗状況が、各年次で達成すべき成果に到達していると確認されたか

### 3. 修了審査

学生の修了に係る学修の成果は、以下について審査します。

- ・最終試験において、ディプロマ・ポリシーが達成されたと確認された。
- ・学位論文審査会または課題研究審査会において、学位論文もしくは課題研究成果が、学位を得るべき内容であると確認されたか

## 2 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）に4年以上在学して所定の単位（30単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、「博士（獣医学）」の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に3年以上在学すれば足りるものとします。

## 3 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）担当教員一覧

氏名	職名	専門科目	教育研究指導分野	
			名称	内容
△五十嵐 慎	教授	獣医寄生虫学	耐病性遺伝子工学	原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究
△石井 利明	教授	獣医薬理学	神経薬理学	脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明
△石川 透	教授	獣医生理学	細胞生理学	上皮膜輸送に関与するイオンチャネルおよびトランスポーターの細胞内調節機構と構造機能連関
伊藤 めぐみ	教授	産業動物臨床学	産業動物内科学・衛生学	乳牛・子牛等の疾病予防、早期診断および治療対処法に関する研究
井上 昇	教授	獣医寄生虫学	原虫病学	1) 動物トリパノソーマ症の診断・治療・予防法の開発 2) 動物トリパノソーマ症の疫学調査 3) アフリカトリパノソーマの発育環進行に伴う細胞分化機構の研究
上村 暁子	教授	獣医外科学	小動物外科学 循環器学	1) 犬猫の軟部組織外科学 2) 犬猫の循環器学 3) 人工臓器・生体材料に関する研究
大塚 浩通	教授	産業動物臨床学	産業動物臨床学	成牛と仔牛の免疫機能に関する研究
岡村 雅史	教授	獣医微生物学	獣医細菌学	1) Farm to table を通じた細菌感染の制御 2) 病原細菌の宿主特異性と組織指向性の解明
△河津 信一郎	教授	獣医寄生虫病学	寄生虫病予防 治療学	寄生虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法・診断法の開発
久保田 彰	教授	毒性学	環境毒性学	人工化学物質の生体影響と作用機序に関する研究
古林 与志安	教授	獣医病理学	診断病理学	動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立
佐々木 基樹	教授	獣医解剖学	獣医解剖学	脊椎動物の機能形態学
佐々木 貴正	教授	食品安全	微生物学的 リスク管理	1) 農場から食卓までを一貫した微生物リスク管理 2) 畜産農場における薬剤耐性

白藤梨可	教授	獣医寄生虫学	獣医寄生虫学	1) マダニ生物学 2) マダニにおける原虫伝播機構
南保泰雄	教授	馬繁殖学	生殖内分泌学 馬生産獣医療学	馬の臨床繁殖、繁殖生理及び生殖補助医療に関する研究
西川義文	教授	獣医寄生虫病学	感染免疫学	病原性原虫感染症の発症機序に関する研究
松井基純	教授	獣医臨床繁殖学	繁殖障害診断 治療学	ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明
室井喜景	教授	獣医薬理学	神経薬理学	動物の行動制御に関わる神経機構に関する研究
山田学	教授	獣医病理学	獣医病理学	家畜疾患の病理発生機序解明と診断法の確立
横山直明	教授	獣医寄生虫病学	原虫病高度診断学	家畜原虫の疫学調査及びその制御法の確立
滄木孝弘	准教授	大動物臨床学	予防獣医学	家畜生産に関わる疾病の予防法と早期検知法の開発
麻田正仁	准教授	獣医寄生虫学	地球規模感染症学	原虫の寄生機構に関する研究及び原虫の疫学調査
茅野光範	准教授	応用統計学	生物統計学	人医学・獣医学における統計学の応用研究と実験研究
近藤大輔	准教授	獣医解剖学	神経解剖学	脊椎動物の中樞神経系と嗅覚器の解剖組織学的研究
佐々木瑞希	准教授	公衆衛生学	感染症学	野生動物における病原微生物ならびに蠕虫類保有状況調査
菅沼啓輔	准教授	獣医寄生虫病学	獣医衛生動物学	1) 家畜衛生昆虫の生態学的研究 2) 家畜衛生昆虫および家畜衛生昆虫媒介性疾病制御法開発
武田洋平	准教授	感染症学	ウイルス学	ウイルス感染症制御に関する研究

△印の教員は定年のため、指導可能期間が令和9年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

### 出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地  
 帯広畜産大学 入試課入学試験係  
 TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)  
 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

### 帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。  
 アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp/>

## 1. Number of Students to be Admitted

Program	Number of students to be admitted
	Pre-Arrival Admission for International Students
Doctoral Program of Veterinary Science	Limited

## 2. Application Criteria

To apply for the Special Selection for International Students, one must meet the criteria ①, ② and ③

- ① Those who don't hold Japanese nationality and reside abroad.
- ② Those who took any of the following exams, TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher, TOEFL iBT: 67 or higher, and IELTS Academic-Module: 5.5 or higher, after April 1, 2024.
- ③ A person who meets one of the items i~v below.
  - i. Those who have completed a six-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine, or are expected to do so on or before September 30, 2026.
  - ii. Those who have completed outside Japan an 18-year school education (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or are expected to do so on or before September 30, 2026.
  - iii. Those who have been conferred, or expect to be conferred by September 30, 2026, a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and completing a program that requires 5 years or longer to complete (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) (including completing a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as completing a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and have received the designation mentioned above). [Note 1]
  - iv. Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 39, Ministry of Education, 1955):
    - a. Who studied medicine or dentistry at a department of medicine or dentistry of a university set up by the former University Order (Imperial Ordinance No. 164, 1918).
    - b. Who graduated from the National Defense Medical College set up by the Act for Establishment of the Ministry of Defense (Act No. 164, 1954).
    - c. Who have completed a master's or professional degree program, who are eligible for a master's degree, or who have been enrolled in a doctoral program for two years or longer, acquired 30 credits or more, received necessary research instruction, and who have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who completed 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine.
    - d. Who have been engaged in research at a university or research institute after graduating from a four-year college or completed a 16-year overseas school education, and have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who have completed a 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine. [Note 2]
  - v. Those who are 24 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a university graduate. [Note 2]

**Note 1 :** Applicants who graduated or are expected to graduate a university in a country in which it takes less than 18 years to complete formal education to the university level (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) and who don't satisfy criteria iii above need to choose the preliminary selection specified in v.

**Note 2 :** Applicants who satisfy criteria ③-iv-d or ③-v need to refer to “3. Authorization for Qualified Applicants” on page 12.

### 3. Authorization for Qualified Applicants (if applicable)

Those who will apply under the application criteria ③-vi-d or ③-v have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by E-mail by the deadline.

Documents to submit	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript (4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results
Deadline	Friday, June 5, 2026
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

\*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

### 4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by E-mail by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

Documents to submit	(1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other documents that show the conditions of disabilities (e.g., a copy of the disability certificate)
Deadline	Thursday, June 18, 2026
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

\*The application form for consultation is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

## 5. Financial Support Program

### (1) Special Financial Support Program for International Students of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Applicants for the Special Financial Support Program will be screened by documents in advance.

Those who pass this screening and then apply to and pass the entrance examination (Online interview) are given a scholarship (100,000 yen / month) and exempted from entrance and tuition fees.

The maximum period of the scholarship and tuition exemption is for four years. The scholarship and exemption may be cancelled in the first year depending on the student's overall evaluation including course grades.

If you wish to apply for this scholarship and exemption, submit the following documents by E-mail by the deadline.

However, those who are recipients of a government or other organization scholarship are not eligible for this scholarship and exemption.

Number of scholarship recipients	1 ( For students who will enroll in October, 2026)
Documents to submit	Application documents on page 14 except the item 2*.
Deadline	Friday, May 22, 2026
Notification of documents screening results	Friday, June 5, 2026
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

\*No need to pay the examination fee for only document screening.

### (2) The Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately-Financed International Students 2026

**【Eligibility】** Privately-financed international students with excellent academic and character records who are planning to enrolled in graduate school and are facing financial difficulties. For other requirement, please see the website of Japan Student Services Organization (JASSO).  
[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html)

**【Monthly stipend】** 48,000 yen per month

**【Scholarship period】** 6 months (From October 2026 to March 2027)

**【Method of application】** Please contact the section in charge below by Thursday, May 7, 2026.

**【Contact】** Student Services Section, International Student Affairs. Email: rgk@obihiro.ac.jp

**【Note】** Successful applicant of (1) is eligible to receive both (1) and (2).

## 6. Application Procedure

### (1) Application documents

Application documents		Summary
1	Application form, Exam admission card, and Photograph card	Fill out the prescribed form except columns marked with. * The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat. Digital photo is available
2	A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form	The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution. A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form must be submitted with the application documents. See (2) Examination fee on Page 15.
3	Research proposal	Describe the research you intend to do in the Doctoral Program. See (3) Guideline of research proposal on Page 15.
4	Statement of purpose	Describe why you chose our Doctoral Program and what kinds of things do you think you can contribute to Japan and your home country through your experience of studying in Japan within one A4 sheet in English.
5	Certificate of completion, or certificate of expected completion, of 6-year undergraduate program or Master's program	Must be original.
6	Academic transcript	Records of undergraduate and graduate school, which should be original and sealed
7	Letter of recommendation	Should be described applicant's personality, grades, extracurricular activities, English proficiency, etc. by dean or person of equivalent status in college you attended.
8	TOEIC Official Score Certificate or TOEFL Examinee Score Reports or IELTS Test Report Form	Submit the certificate of one of the following exams. Tests which were taken after April 1, 2024 are acceptable. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher original certificate or a printed copy of the digital certificate TOEFL-iBT: 67 or higher original score report or a printed copy of the PDF score report IELTS Academic-Module: 5.5 or higher original score report or a printed copy of the PDF score report

(2) **Examination fee (Remittance from abroad)**

The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution following the instructions below.

- Telegraphic transfer
- Advise and pay
- Applicant pays the transaction charge
- Amount: ¥30,000(yen)
- Transfer to:

Receiving bank:

NORTH PACIFIC BANK,LTD.

BANK BRUNCH NAME: OBIHIRO-CHUO BRANCH

SWIFT CODE: NORPJPJP

Receiving bank's address:

1-BANCHI MINAMI 12-CHOME, NISHI 2-JO, OBIHIRO,  
HOKKAIDO 080-0012, JAPAN

Beneficiary's Account No:

431-4708620

Beneficiary's name:

(DAI)HOKKAIDOKOKURITSUDAIGAKUKIKOU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- **Put “PAY IN FULL” in the “Message to payee” space in the remittance application form.**

**Payment Period: From Monday, June 1, 2026 to Thursday, June 18, 2026**

**\*All handling fees including transaction charges are to be paid by the applicant.**

Note1: The examination fee is not refundable for any reason except the following:

- The applicant has failed to submit his or her application form by the prescribed date, or his or her application form has been rejected by the University.
- The applicant has paid the examination fee twice.

A request for a refund should be made promptly.

\*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

E-mail: [nyushi@obihiro.ac.jp](mailto:nyushi@obihiro.ac.jp)

Note2: An application will be rejected if the examination fee is not paid.

(3) Guideline of research proposal

**You must consult your prospective supervisor before making the research proposal.** The proposal must include the following three points in English, on A4 sheets, 2 pages maximum:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

\*The form for the research proposal is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

#### (4) Application method and application period

Send all application documents by E-mail .

The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period. Documents arriving later than this will not be accepted.

**Application Period : From Monday, June 8, 2026 to Thursday, June 18, 2026**

**\*The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**

#### (5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office,  
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine  
11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan  
**E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp**

### 7. Method of Selection

Results from English and interview (about the research proposal, statement of purpose, the academic transcript and the letter of recommendation) will be examined.

Description	Allotment of marks	Summary
English	100	Submit the original certificate of one of the following exams. Points are given according to our graduate school regulation The test score must be taken after April 1, 2024. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher (Submit either the original or a printed copy of the digital certificate) TOEFL iBT: 67 or higher (Submit either the original or a printed copy of the PDF score report) IELTS Academic-Module: 5.5 or higher (Submit either the original or a printed copy of the PDF score report)
Online Interview	100	Personal interview in English by multiple interviewers from the Specialty (about 15 min)

### 8. Time and Date of Examination

Date	Description	Time
Friday, June 26, 2026	Online Interview	To be arranged after application

### 9. Notification of Admission

#### (1) Schedule : 10:00 a.m., Friday, July 3, 2026

The code numbers of accepted students are displayed on the website (<https://www.obihiro.ac.jp/en>).

- (2) The notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures are sent to the admitted students by E-mail.
- (3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

### 10. Enrollment Procedures

#### (1) Enrollment period : From Friday, July 3, 2026 to Friday, July 17, 2026

**\*The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**

- (2) Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 4,730 yen  
(Insurance for accidental injury in University activities)

## **11. Privacy Statement**

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information " and the "Hokkaido National Higher Education and Research System Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

**Description of the Doctoral Program**  
**Veterinary Science**  
**Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture**  
**Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine**

**1. Education Policy of the Doctoral Program of Veterinary Medicine**

**Admission Policy**

The Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture, utilizing its educational systems which involve “fusion of veterinary medicine, animal science and agriculture” and “cooperation with overseas universities” aims to train educators and researchers who, while keeping globalization of food and agriculture in mind, have technical knowledge, creativity, and excellent research and development skills, and excellent educational abilities as well as great personality. For that purpose, we want students:

1. Who aim to be educators and researchers who can conduct international-standard, advanced research with global views on veterinary medicine, animal science and agriculture, and have good communication skills,
2. Who are eager to contribute to society domestically and globally by giving back to society their research results in the field where veterinary medicine, animal science and agriculture are fused, and by playing a central role in maintaining animal and human health, conserving the global environment and ecosystem, and developing industries and life science,
3. Who want to pursue comprehensive knowledge and advanced research on a specific area of the veterinary medicine program, and
4. Who have acquired basic knowledge and skills, and application skills, up to the bachelor’s level in veterinary science and related fields, and basic knowledge and skills, and application skills, up to the master’s level in other fields.

**Basic policy for admission**

1. General Admission

In the proficiency test in English, we will evaluate the applicant's ability to read and understand English related to veterinary science. In the proficiency test in specialized subjects, we will evaluate the applicant's ability in the specialized field. In the interview, we will evaluate the applicant's communication skills, knowledge of his/her specialized field and motivation, taking into consideration the results of the screening of application documents.

2. Admission for International Students

In the proficiency test in English, we will evaluate the applicant's ability to read and understand English based on the grade of TOEIC, TOEFL or IELTS. In the interview, we will evaluate the applicant's communication skills, knowledge of his/her specialized field and motivation, taking into consideration the results of the screening of application documents.

**Diploma Policy**

In the Doctoral Program of Veterinary Science, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, and have acquired the following skills that enable them to shoulder advanced research using their up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, clinical veterinary medicine and public health, and interdisciplinary fields of the above:

1. Ethics

- Ethics based on up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine, and based on deep understanding of highly advanced medical techniques and of social activities for companion, industrial and wild animals,

2. International competence and leadership

- Abilities to conduct international-standard, advanced research in a wide range of fields of life-scientific research including the intravital micro-level, the macro-level dealing with individuals and populations, and

- animal production.
  - Abilities to conduct international-standard, advanced research in the field of ecological research dealing with the inside of organisms, individuals and populations.
  - A wide range of technical knowledge on veterinary life science, and abilities to conduct international-standard, advanced research.
  - Abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health utilizing highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.
3. Communication skills:
- Internationally competent presentation skills and communication skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with regard to their specialty in the fields of basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine.
4. Technical knowledge and skills:
- Abilities to utilize highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and to utilize excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science; abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health; global views with regard to the fields of veterinary medicine, animal science, agriculture, and their interdisciplinary fields; practical skills and leadership to meet various social needs according to the globalization of veterinary medicine, and; international-standard, advanced research skills.

### **Curriculum Policy**

I In order to have the students acquire knowledge and skills specified in the diploma policy of the Doctoral Program of Veterinary Science, we organize curriculum in accordance with the following policies:

#### **I. Contents of Education**

We offer education in the following 1 to 5 to all students, as well as in the following 6 if necessary.

1. Developing high-level of ethics as a researcher:  
Students will develop a high-level of ethics as educators and researchers using e-learning and active learning.
2. Developing leadership:
  - Students will acquire advanced knowledge and skills as well as an ability to manage the whole in order to develop educators and researchers with practical skills and leadership, which enable them to satisfy social needs,
  - Students will acquire practical teaching and research skills to become excellent educators and researchers.
3. Developing international competence:
  - Students will improve their presentation, debate and academic writing skills to play an active role globally in the future,
  - Students will develop international competence through research internship and fieldwork in cooperation with overseas universities in order to acquire advanced research skills.
4. Developing comprehensive research abilities as a doctor:
  - Through common courses as well as elective courses from other degree programs, students will acquire a wide range of highly technical knowledge interdisciplinarily from the viewpoint of fusing veterinary medicine, animal science and agricultural studies,
  - In addition, students will acquire international-standard, advanced research skills that aim to resolve global issues through research supervision.
5. Students will acquire highly advanced technical knowledge and skills on veterinary medicine and related fields through core courses in order to develop researchers who can play an active role and make contributions globally.
6. Students will acquire the globally most advanced knowledge and skills on food safety, and animal and human health, involving highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic

and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.

## II. Methods of Education

1. We offer active learning for students to acquire advanced research skills at an international level and to improve advanced problem-finding and problem-solving skills to resolve global issues.
2. Students will practice the expressive and communication skills acquired through presentations and thesis writing in English at research internships and fieldwork in cooperation with overseas universities.
3. We offer practical exercises to improve leadership skills as educators and researchers who can respond to the needs of society.

## III. Evaluation of Learning Outcomes

1. The evaluation methods and criteria for each course are clearly stated in the syllabus of each course and the Evaluation Criteria for Course.
2. The policies for evaluation on credit, promotion and graduation are established and announced separately in the Assessment Policy and the Evaluation Criteria for Thesis..

### . Assessment policy

The accomplishments of study required in ‘Diploma Policy’ and the progresses of study defined in ‘Curriculum Policy’ are examined as follows:

#### 1. Course Credit

The accomplishment of study concerned with credits of a course is examined as follows:

- Examine whether the requirements for course credits such as attendance, submission of a report or an assignment have been met
- Examine whether the goals of a course have been met

#### 2. Promotion

The accomplishment of study concerned with promotion is examined as follows:

- Examine whether the studies of a student have been progressed according to Curriculum Policy with the test of promotion
- Examine whether the accomplishment of study has been met the goal for each grade with the ‘Screening of progress with research’ or ‘Mid-term screening’

#### 3. Completion

The accomplishment of study concerned with completion is examined as follows:

- Examine whether the Diploma Policy of OUAVM has been met with the final test
- Examine whether the thesis (include the products of research work) / dissertation is worthy to award the master’s / doctoral degree of OUAVM

### 2. Completion of programs and awarding degrees

Students are awarded the Doctoral Degree in Veterinary Science after they completed the program, i.e., those who have been enrolled in the Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture of our university for four years or longer, and have earned the required 30 credits, who have received the necessary research instruction, and passed the examination of their doctoral thesis in addition to the final examinations of the courses relevant to the thesis.

However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to three years.

### 3. Supervisors

Name	Position	Specialized Subject	Field of Research	Contents
△Igarashi Makoto	Professor	Veterinary Parasitology	Diseases Control	Parasitism of protozoan parasites

△Ishii Toshiaki	Professor	Veterinary Pharmacology	Neuropharmacology	Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the central nervous system
△Ishikawa Toru	Professor	Veterinary Physiology	Cell Physiology	Cellular regulatory mechanisms and structure-function relationships of ion channels and transporters involved in epithelial transport
Itoh Megumi	Professor	Farm Animal Clinical Medicine	Farm animal Internal Medicine Hygiene	Prevention, early diagnosis, and treatment of diseases in cows, calves and other ruminants
Inoue Noboru	Professor	Veterinary Parasitic Protozoology	Parasitic Protozoology	1) Development of diagnostic, therapeutic, and preventive methods for animal trypanosomoses. 2) Epidemiological studies for animal trypanosomoses. 3) Research on the mechanisms of cell differentiation in African trypanosome in progress of its life cycle.
Uemura Akiko	Professor	Veterinary Surgery	Small Animal Surgery Cardiology	1) Soft tissue surgery for dogs and cats 2) Cardiology for dogs and cats 3) Research on artificial organs and biomaterials
Ohtsuka Hiromichi	Professor	Veterinary Internal Medicine	Large Animal Internal Medicine	Studies on immune function of cattle and calves
Okamura Masashi	Professor	Veterinary Microbiology	Veterinary Bacteriology	1) Control of bacterial infections through farm-to-table technology 2) Mechanisms of host specificity and tissue tropism in bacterial pathogens
△Kawazu Shinichiro	Professor	Veterinary Parasitology	Preventive Medicine for Parasitic Diseases	Development of novel vaccines, therapeutic and diagnostic approaches based on functional analysis of the parasitic genome and proteins
Kubota Akira	Professor	Toxicology	Environmental Toxicology	Study on biological effects and mode of action of anthropogenic chemicals
Kobayashi Yoshiyasu	Professor	Veterinary Pathology	Diagnostic Pathology	Pathogenesis and diagnosis of animal diseases
Sasaki Motoki	Professor	Veterinary Anatomy	Veterinary Anatomy	Functional morphology in vertebrates
Sasaki Yoshimasa	Professor	Food safety	Microbiological Risk Management	1) Microbiological risk management from farm to table 2) Antimicrobial resistance in livestock
Umemiya-Shirafuji Rika	Professor	Veterinary Parasitology	Tick Biology	1) Biology of ticks 2) Transmission mechanisms of protozoan parasites in ticks
Nambo Yasuo	Professor	Equine Reproduction	Equine Reproduction	Studies on equine reproduction, reproductive physiology and assisted reproductive technology in horses
Nishikawa	Professor	Veterinary	Infection	Study on onset mechanism of pathogenic

Yoshifumi		Parasitology	Immunity	protozoan diseases
Matsui Motozumi	Professor	Theriogenology	Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases	Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction
Muroi Yoshikage	Professor	Pharmacology	Neuropharmacology	Studies on behavioral neuroscience
Yamada Manabu	Professor	Veterinary Pathology	Diagnostic Pathology	Pathological approach for pathogenesis of livestock diseases and establishment of diagnostic methods
Yokoyama Naoaki	Professor	Veterinary Parasitology	Diagnosis for Protozoan Diseases	Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy
Aoki Takahiro	Associate Professor	Large Animal Clinical Science	Preventive Veterinary Medicine	Development of methods for prevention and early detection of diseases associated with livestock production
Asada Masahito	Associate Professor	Veterinary Parasitology	Global Infection Control	1) Study on the mechanism of parasitism 2) Epidemiological survey of protozoan disease
Kayano Mitsunori	Associate Professor	Applied Statistics	Biostatistics	Statistics and lab/animal experiments in human and animal medicine
Kondoh Daisuke	Associate Professor	Veterinary Anatomy	Neuroanatomy	Morphological and histological studies of vertebrate olfactory organ and brain
Sasaki Mizuki	Associate Professor	Public health	Infectious Diseases	Studies on infectious diseases of wild vertebrates.
Suganuma Keisuke	Associate Professor	Veterinary Parasitology	Veterinary entomology	1) Study on the biology of livestock pests 2) Control of livestock pests and infectious disease
Takeda Yohei	Associate Professor	Infectious Disease	Virology	Study on control of viral infectious diseases

The Professor marked with  $\triangle$  will retire on March 31, 2028. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

#### Application and enquiries

Entrance Examination Office,

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 – 17:15, Monday – Friday)

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

#### Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<https://www.obihiro.ac.jp/en>>